実践教育で地域とともに未来つくる

年頭の抱負　尾池 守　石巻専修大学長

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1989年４月１日に石巻圏域唯一の高等教育機関として創立した本学は、お陰様でこの４月に創立37年目を迎えます。関連する皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

本学は建学の精神「社会に対する報恩奉仕」の下、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を理念として掲げ、「社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人材」を育成します。そのために、社会実践教育〝*ISHINOMAKI is CAMPUS*〟を全学的に実践し、学生一人一人に適した「学生を基本に据えた大学づくり（学生第一主義）」を目指しています。

■ 第２次中長期ビジョンを設定

創立30周年を機に設定した第１次中長期ビジョンに基づいて、社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材の育成を実践してきました。それを発展的に継承し達成度のさらなる向上を目指して、今後５年間を見据えた第２次中長期ビジョン（2025～2029年度）を設定しました。

本ビジョンでは、次の七つの行動目標を定めました。

第２次中長期ビジョン七つの行動目標

① 学生支援の強化による学生活動実績の向上（活気あるキャンパスづくり）
② 地域連携による社会実装と地域教育の強化
③ 社会実践教育の全学的な拡充
④ 収容定員充足に向けた教学改革と入試改革の一体的な推進
⑤ 少子化を乗り切る魅力ある教育組織の新編
⑥ 教職協働の実現に基づく大学改革の推進
⑦ 財務の健全化に向けた対応

各行動目標には行動計画と指標・要点を設定して、この組織目標に従う年次進行のロードマップ・行動項目を準備し、達成状況を的確に評価することで、内部質保証の活動（ＰＤＣＡサイクル）を円滑に運用する所存です。

さらに第２次中長期ビジョンでは、ここまで本学が掲げてきた大学ブランドスローガン「地域に根差して世界に尖がった大学」を大切に継承しつつも、「学生を基本に据えた大学づくり」と「社会から真に評価される大学への転換」を両輪として、地域とともに未来をつくるサブスローガンを盛り込みました。

【大学ブランドスローガン】
「地域に根差して世界に尖がった大学」
～地域とともに学生と地域社会の未来をつくり、社会から真に必要とされる大学を目指す～

■ 社会知性で地域課題を解決

本学は、理工・経営・人間の３学部を基盤とした多様な学問領域を有する総合大学の特色を生かし、文理横断型の教育研究活動や社会知性で地域課題を解決します。教員が研究活動に基づいた実践的な授業を展開し、〝*ISHINOMAKI is CAMPUS*〟に基づいて学生の皆さんが地域社会の諸課題に取り組み、その成果を世界に発信する「地域に根ざして世界に尖がった大学」を目指していきます。

本年も皆様方のご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

石巻専修大学
「石巻専修大学」ホームページ
https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

公立教員採用試験・公立保育士試験

11人が合格

2024年度の公立学校教員採用試験に理工学部1人、人間学部6人の計7人が合格した。また、公立保育士試験には人間学部の4人が合格した。合格者の氏名は別表参照。

尾池学長（前列中央）に合格を報告した学生と指導教員ら

公立学校教員採用試験

中学校（理科）	
岩井 翔	理工・岩手県千厩高
小学校	
杉浦 康悦	人間・山形県山形城北高
守 美久	人間・宮城県石巻西高
上野 叶生	人間・宮城県東北学院榴ケ岡高
菅原 音々	人間・宮城県岩ケ崎高
高橋 愛望	人間・宮城県岩ケ崎高
藤垣 さくら	人間・秋田県大館鳳鳴高

公立保育士試験

千葉 こはる	人間・宮城県石巻西高
松井 花鈴	人間・宮城県聖ウルスラ学院英智高
高橋 里奈	人間・秋田県大曲高
加賀 悠一郎	人間・クラーク記念国際高

※敬称略。氏名に続き学部・出身高。学年は４年次

本学では「保育士・教員養成センター」を設け、保育士や教員を目指す学生に対してさまざまなサポートを展開。これまでに多くの学生が、担当教員の指導を受けながら実力をみがき、採用試験を突破している。今年度の合格者も「先生方の熱心なサポートがとても心強かった」などの感想を寄せている。

合格者たちは12月19日、尾池守学長に合格を報告した。尾池学長は、「教育者として、生涯学び続ける人材を育成してほしい」と激励の言葉を送った。

合格者インタビュー

宮城県教員採用試験（小学校）　上野 叶生さん

普段の学生生活やボランティア活動から得た経験が、合格という結果に結びついたと感じている。教員としての目標は、子どもとの間に壁をつくらないこと。一緒に遊んだり、話をしたりして信頼を得たいと思う。

仙台市（保育士）　千葉 こはるさん

途中で挫折も経験したが、授業やアルバイトで憧れの保育者と出会い、再度勉強に向き合うことができた。これからは市職員として地域につながりを作り、子どもの幸せを第一に考える保育者を目指したい。

みやぎふるさとCM大賞
石巻市のPR映像制作

審査会に参加した中山さん（左）と大樂さん

人間学部3年次の中山さくらさん（宮城県築館高）と大樂未咲さん（福島県郡山東高）が石巻市と協働し、「第23回みやぎふるさとCM大賞」（khb東日本放送主催）の応募作品を制作した。

宮城県内の各自治体が地元の魅力を表現・発信するCMコンテスト。4月から約5カ月間、二人は石巻市との打合せ、絵コンテ制作、学内外でのロケハン、撮影、編集などに奔走。小林菜々美さん（理工2・秋田県聖霊女子短大付属高）、田口育さん（理工1・秋田県秋田令和高）、佐々木真斗さん（経営1・岩手県宮古商工高）の協力も得ながら、『マンガの街・石巻』と題した30秒CMを完成させた。

11月23日、khb東日本放送ぐりりホール（仙台市）で開かれた審査発表会では、中山さんと大樂さんが登壇し、作品紹介を行った。惜しくも入賞は逃したものの、チームで取り組んだ制作作業や市民との交流は貴重な経験になった。

制作した30秒CM

中山さんは、「石巻市は優しくすてきな人がたくさんいる街。活動を通じて、市民の方々の温かさを改めて感じた」と振り返った。大樂さんは、「皆で作る楽しさや達成感を味わうことができた。この経験を今後の学生生活に生かしたい」と語った。

イオンモール石巻で初開催
保育学研究室 図書館ボランティア
親子向けイベント

人間学部人間教育学科保育学研究室（指導：高橋有香里特任准教授）と図書館ボランティア「LOVERARY（ラブラリー）」が12月22日、イオンモール石巻で親子向けイベントを初開催した。多くの家族連れが来場し、絵本の読み聞かせやクリスマスステッキづくりなどを楽しんだ。

イベント名は「親子で知ろう睡眠のこと～読み聞かせと展示～」。学生8人が学年・学科の垣根を超えて協力しながら、企画、準備、運営を担った。当日は、保育実習などでの学びを生かし、絵本や紙芝居、眠りを誘うエクササイズを披露した。フォトスポットやおすすめ絵本の展示コーナーも設置したほか、手作りのクリスマスプレゼントを配り、来場者と交流を深めた。

保育学研究室の松井花鈴さん（4年次・宮城県聖ウルスラ学院英智高）は、「未就学児から小学生まで、相手に合わせて臨機応変に対応することの大切さを改めて学ぶことができた」と、充実した一日を振り返った。図書館ボランティアの高橋空さん（経営3・宮城県気仙沼向洋高）は、「今後もこのようなコラボ企画を続けたい」と話した。

紙芝居の読み聞かせを行う学生

出願受付中
★詳細はホームページで必ずご確認ください。
【一般選抜A日程】【特待生選抜】
試験日　1/30（木）
出願締切日　1/17（金）※消印有効
【一般選抜B日程】
試験日　2/27（木）
出願期間　2/1（土）～20（木）※消印有効
【大学入学共通テスト利用選抜B日程】
出願期間　2/3（月）～13（木）※消印有効

第７回石巻専修大学 研究シェアリング・プログラム
本学の研究ブランドの発信、技術開発と交流を目指し、石巻地域の企業に研究内容や成果を公開します。
■日時：２月28日（金）14:00～16:00
■会場：石巻専修大学５号館３階学生ホール
■事前申込が必要です（無料）。
【締切】２月27日（木）
申し込みフォーム▶